

第42回企画展

化石はのしい!

Fun of Fossils

Discovery, Mystery, Beauty,

—巨大恐竜からミクロの世界まで—

■開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休館日 毎週月曜日

（ただし、ゴールデンウィーク期間中の4月29日（火）～5月6日（火）は休まず開館し、5月7日（水）が休館となります。）

■入館料

	一般料金（団体料金）	年間パスポート
大人	720円（580円）	1,500円
高・大学生	440円（300円）	1,900円
小・中学生	140円（70円）	300円

*（ ）内は20名以上の団体料金です。

*未就学児、昭和13年4月1日以前にお生まれの方、障害者手帳をお持ちの方は入館無料です。

*この料金には、本館内常設展・野外施設入場料が含まれています。

*毎週土曜日は、小・中・高校生は入館無料です。（但し、春休み期間を除きます。）

*3月20日（春分の日）、5月4日（みどりの日）、6月5日（環境の日）は、サイエンスデー（無料入館日）です。

■主催 ミュージアムパーク茨城県自然博物館

■共催 NHK水戸放送局

■後援 茨城新聞社・ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

■記念イベント

●自然講座「福井恐竜発掘物語」

3月30日（日）13:30～15:30

講師：後藤道治氏（福井県立恐竜博物館）

●自然観察会「コハクを探そう」

5月25日（日）10:00～14:00

●自然講座「フタバズキリュウ発見の物語」

6月8日（日）13:30～15:30

講師：鈴木直氏（いわき市アンモナイトセンター）

●特別イベント

「ミュージアムナイト」5月17日（土）

次回企画展のお知らせ

第43回企画展

「クマのすべて—森のアンブレラ種—」（仮称）

2008年7月12日（土）～9月21日（日）

ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県坂東市大崎700番地
TEL 0297-38-2000（代表）
ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>

2008年

3月15日（土）

6月15日（日）

●3月15日（土）は午後1時から公開となります。

■交通案内 車利用の場合 ●常磐自動車道谷和原ICから20分

鉄道、バス利用の場合

●つくばエクスプレス守谷駅下車～関東鉄道バス「岩井行き」又は

「磐島行き」乗車～「自然博物館入口」下車、徒歩5分

●JR柏駅で東武野田線乗り換え、愛宕駅下車～茨城急行バス「岩井

車庫行き」乗車～「自然博物館入口」下車、徒歩10分

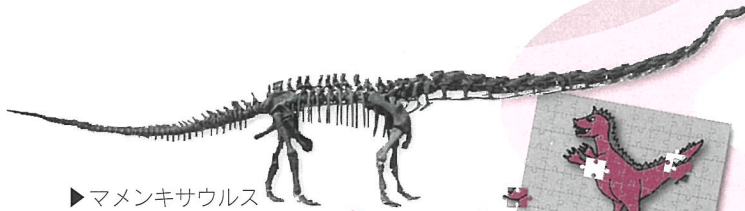
Copyright © The Future is Wild™2008
協力：ダイヤモンド社/NHKセンタープライズ

第42回企画展

Fun of Fossils Discovery, Mystery, Beauty, . . . 化石はたのしい!

～巨大恐竜からミクロの世界まで～

化石はみなさんにとってどんな存在でしょうか。不思議なもの、遠い昔のもの、むずかしいものなど、さまざまな印象を持っていることと思います。この企画展では、化石がもつたのしさを7つの面から紹介しています。すばらしい化石の世界をおたのしみください。



▶ マメンキサウルス

復元がたのしい!

化石はほとんどの場合、不完全な形で発掘されます。私たちが本や映画などで目にする恐竜の姿などは、さまざまな情報をもとに苦心の結果生み出されたものなのです。このコーナーでは恐竜や骨質歯鳥類の復元などを紹介します。

シアものがたのしい!

過去の生物が化石として保存されるのは、さまざまな条件が重なって起こる奇跡のようなことです。また、その化石を人が発見するのも同じことです。そんな化石の中でも、さらに貴重で珍しい化石を集めました。

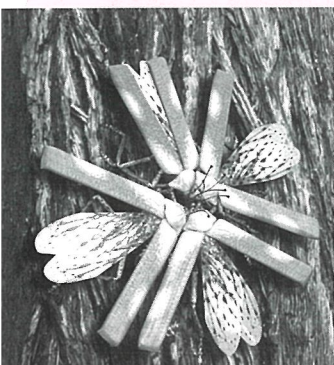


▶ X線で撮影すると脚が見える三葉虫



夢があるからたのしい!

化石からわかるのは過去の生物や環境のことだけではありません。これまでの生物の進化を知ること、未来のことを想像できる夢があるのです。このコーナーでは、そんな夢に実際に取り組んだイギリスのプロジェクト「フューチャー・イズ・ワイルド」を紹介します。



▶ スピットファイアビートル

Copyright © The Future Is Wild ~ 2008
協力: ダイヤモンド社/NHKエンタープライズ

きれいだからたのしい!

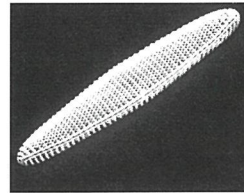
化石の中には人の目を奪うような美しいものがあります。オパール化した貝、虹色に輝くアンモナイト、謎を秘めた琥珀、それぞれがジュエリーのような輝きを持っています。



▶ 黄鉄鉱化したアンモナイト

ミクロの世界がたのしい!

岩石の中には肉眼では見えない小さな化石がたくさん入っています。それらを取り出して顕微鏡でのぞくと、そこには驚きの世界が。有孔虫、放射虫、珪藻、花粉などの化石は過去のさまざまなできごとを語ってくれます。



▶ 珪藻の化石



▶ フタバズキリュウ

発見がたのしい!

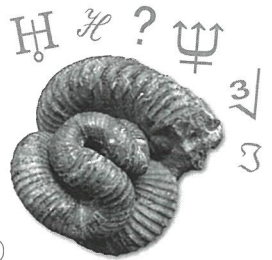
化石を発見するという幸運に恵まれた人たちは、どのような喜びを語ってくれるのでしょうか。このコーナーでは、フタバズキリュウの発見者として有名な鈴木直氏をはじめ、化石ハンターたちの発見にまつわるエピソードを化石とともに紹介します。また、現在発掘中の話題の恐竜「タンバリュウ」、日本初公開の「ギガントラブル」も登場します。



ナゾ解きがたのしい!

古生物学者たちは、化石からさまざまなナゾを解き明かしてきました。このコーナーでは、そんなナゾ解きの例を紹介し、そのたのしさを伝えたいと思います。

▶ ニッポニテス (アンモナイト)



交通案内

【車利用の場合】

- 常磐自動車道谷和原ICから20分

【鉄道、バス利用の場合】

- つくばエクスプレス守谷駅下車

↓
関東鉄道バス「岩井行き」
又は「狼島行き」乗車

↓
「自然博物館入口」下車、徒歩5分

- JR柏駅で東武野田線乗り換え、
愛宕駅下車

↓
茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車

↓
「自然博物館入口」下車、徒歩10分

